

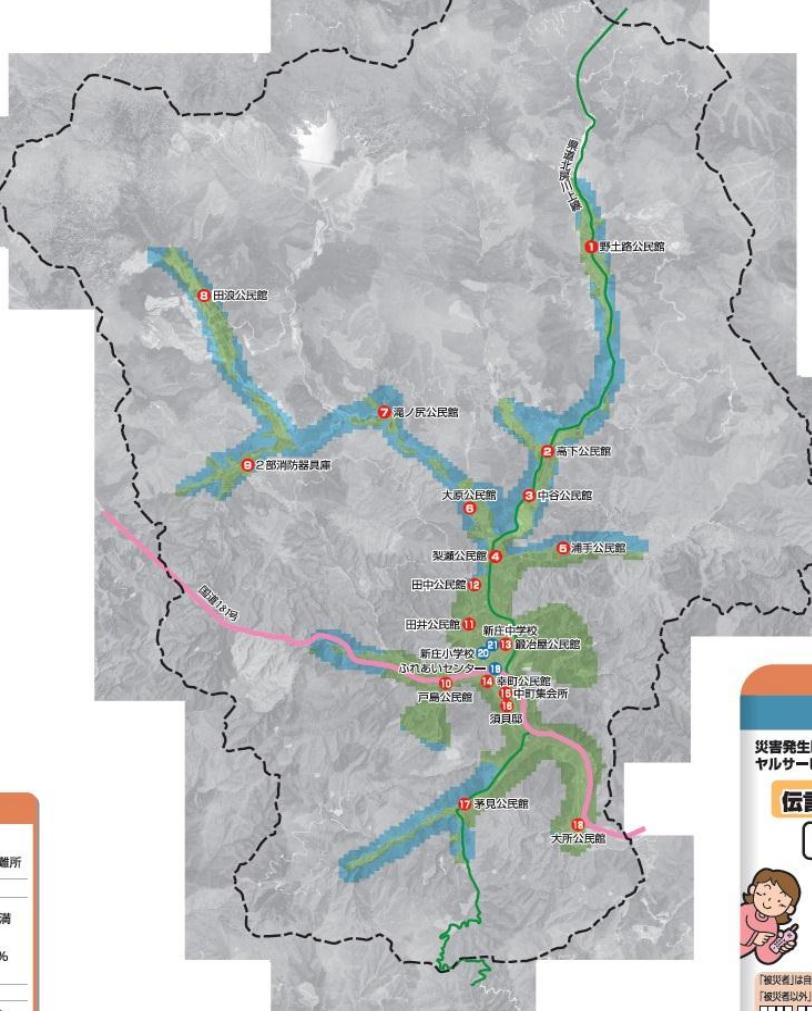


新庄村地震ハザードマップ

地域の危険度マップ

本マップは、「ゆれやすさマップ」で示した強さのゆれとなった場合に、建物に生じる被害の程度(全壊する建物の割合)を表したものです。

全壊率 3% とは、100 棟のうち 3 棟が全壊となる割合を表しています。
50m の格子(メッシュ)でシミュレーションしており、個々の家の全壊率を判定したものではありません。



凡例

- 避難所
- その他避難所
- 全壊率

- 2%未満
- 2~3%

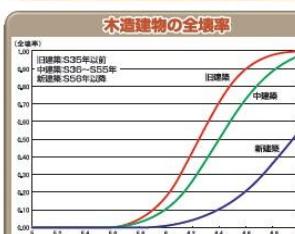
主要道路

- 国道
- 県道

1 / 39,000

震度と建物全壊率の関係

木造建物昭和15年以前の
建物は要注意!



非木造建物の全壊率

昭和15年以前の
建物は要注意!

※出典：内閣府地震防災マップ作成技術資料

建物被害の種別

無被害

被害が生じていない



一部損壊

壁面に亀裂が生じている。
外装に若干の剥離がある。



半壊

住居にする上で一部支障をきたす。



全壊

外装や柱の傾斜が
1/20以上である。

建物の全体、もしく
は一部の階が全て
倒壊している。



地震に対して、安全な避難方法を 日頃から考えておきましょう。

避難所		
No.	地区名	名称
1	野土路	野土路公民館
2	高下	高下公民館
3	中谷	中谷公民館
4	梨瀬	梨瀬公民館
5	浦手	浦手公民館
6	大原	大原公民館
7	滝ノ尻	滝ノ尻公民館
8	田浪	田浪公民館
9	二ツ橋	2部消防器具庫
10	戸島	戸島公民館
11	田井	田井公民館
12	田中	田中住宅
13	銅治屋	銅治屋公民館
14	幸町	幸町公民館
15	上町	
16	東町	
17	茅見	茅見公民館
18	大所	大所公民館

その他避難所	
No.	名称
19	ふれあいセンター
20	新庄小学校
21	新庄中学校

マップの使い方

まずは、自分の家の位置を
地図上に表示しておきま
しょう。



災害用伝言ダイヤル

災害発生時(震度6弱以上の地震など)に稼働するNTTの災害用伝言ダイヤルサービス。家族や友人が被災した場合の安否確認や連絡に役立ちます。

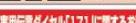
伝言の録音方法



録音の場合

「被災者は」は自分の番号を、

「被災者以外」の人は被災者の電話番号(市外局番から)



～音を吹き込み(30秒以内)

伝言の再生方法



聞く場合

「被災者は」は自分の番号を、

「被災者以外」の人は被災者の電話番号(市外局番から)



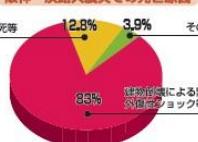
～音を吹く(30秒以内)

緊急用伝言ダイヤルに繋ぐお問い合わせは、毎年なしの「116番、または近くのNTT支店・営業所へ

地震の被害を防ぐには?

阪神・淡路大震災では、地震によって亡くなられた方の約8割が建物の倒壊や家具の転倒による圧死といわれています。特に、倒壊した建物の多くは昭和15年6月の建築基準法の改正(耐震基準の強化)以前に建てられたものでした。一方、改正後に建てられ、耐震性が確保されていた住宅の多くは甚大な被害を受けずに済みました。

阪神・淡路大震災での死亡原因



阪神・淡路大震災での建物被害状況



室内の安全対策

重いものは置かないようにしましょう!

転倒・飛び出し防止金具の取付けましょう。

